



(財)鳥取県労福協
第264号

題字
柴山抱海書

もくじ

第5回

中部労福協まつり

〔8月23日(日) 倉吉市 関金滝川親水公園〕

会場は元気な歓声で盛り上がりました!!

8月23日(日) 関金滝川親水公園で第5回中部労福協まつりを開催。開始前から続々と会場に訪れた約500名の家族づれで賑やかな雰囲気になりました。

キャンディーのつかみ取り、大山乳業製品販売コーナー、小規模作業所フレンズさんによる出店コーナー、恒例の「×クイズ大会」などで会場は大盛り上がり。メインイベントの「マスつかみ」大会では、約2,500匹のマスが放流されると参加者のモチベーションは最高潮。勢いがいいマスに、物怖じしないで果敢にアタックする子どもたちの勇姿に家族みんなで拍手をする光景も。60cm近い大物をつかみ取った「大物賞」は、2年続けてのご家族の「連覇」で会場からも拍手。

また、労福協中部支部の「ワーク・ライフ・バランス」の啓発活動で、来場者に川柳・標語の募集を行い5点の入賞作品を決定しました。今年は、保育園の親子会での参加、福祉施設の方の参加もありました。

(報告 中部支部事務局長 川上慎治)

第264号 もくじ

2009年度全県学習会報告……………	2
ライフサポートセンターとっとりからのお知らせ…	2
2009年度全国研究集会&国内交流開催報告…	3
事業団体総会開催報告……………	4~5
第46回労働者スポーツ祭典開催のお知らせ……	6
NPO支援活動/WLBをご存知ですか?……	6
緩和ケア委員会公開講座……………	7
事業団体からのお知らせ……………	7
第56回勤労者美術展募集案内……………	8
ひまわりセンター&ジョイサポートよなごからのお知らせ…	8

2009年度 鳥取県労福協全県学習会報告

日 時 2009年 7 月 11日(土) 13時30分～
場 所 倉吉市「ホテルセントパレス倉吉」
参加者 50人

「ワーク・ライフ・バランスーこれからの時代を生き抜くために」というテーマで、講師に鳥取県男女共同参画センター運営協議会副会長、鳥取県W.L.Bシンポジウム実行委員の福井正樹さんをお招きし、学習会を開催しました。

“ワーク・ライフ・バランス”とは・・・一言で言えば、「仕事と生活の調和」です。今、労働者の「仕事」と「生活」が調和する社会(ワーク・ライフ・バランス社会)づくりが進められつつあります。

仕事と生活の調和(WLB)憲章では、

- ★就労による経済的自立が可能な社会
- ★健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会
- ★多様な働き方・生き方が選択できる社会 と謳われています。



このような社会が実現されるために、企業と働く人、国民、国、地方公共団体がそれぞれに役割があるということです。

今回の学習会では、“働く人”の立場で講演をいただきました。『働いていないときの時間の使い方について、例えば魅力ある地域活動・地域で出来るスキルアップ、自分を磨くことの出来る趣味・自分に自信が持てる趣味があると幸せな時間が過ごせるということに繋がると思います。仕事以外で生きがいを持てる人たちは、自分に自信があり、仕事でもそれを発揮しようとし、ストレスが溜まりにくく、心身ともに健康で働ける。』

自分の時間を持つとすることで、時間内に仕事を片付けるスキルを身につける。すると会社の利益が上がる。・・・ワーク・ライフ・バランスとは、そんな可能性を秘めていると思います。そして、働く人のスキルアップと社会のシステム改革のヒントとして、やはり「コミュニケーション」。相手の言うことを正確に理解し、自分の言うことを整理して正確に相手に伝えることが大切です。「どう生きたいか」「どう生きるか」そのために自分は「どうありたいか」を考えられる人が多くいる会社は伸びる。現代社会では、働き続けたい職場(会社)にすることがとても大切です。相互の利益になるからこそワーク・ライフ・バランスを推進していきたい。』という内容でした。



ライフサポートセンターとっとり

毎日の暮らしの中で起こる問題・悩みごと、ご相談ください。私たちが力になります。

☆ご相談内容

金 融	保 険 共 済	労 働	メンタル ヘルス
福 祉 介 護	法 律	子育て	食の安全

☆ご相談方法

メールまたは、FAX で受け付けております。

E メール : soudan5454@shore.ocn.ne.jp

F A X : (0857) 32-5454

*ライフサポートセンターと通りのブログからも
相談・予約申込ができます。

2009年度

全国研究集会報告

〔2009年6月4日(木)～5日(金) 福岡市ソラリア西鉄ホテル〕

テーマ 「21世紀の労働者福祉運動のあり方と労働(雇用)を考える」



本年は「労福協60周年を迎えるに当たっての進むべき方向性」と「いま“はたらく”が危ない」と題し「雇用」をテーマに開催されました。全国から277名が参加。笹森会長、開催県の高島福岡県労福協会長、山崎福岡県副知事に挨拶をいただき集会が始まりました。特別講演「労働を中心とした福祉型社会の展望」として北大法学研究科宮本教授より、底割れする日本社会の貧困率の増加問題について講演がありました。続いて「労福協60周年と連合20周年を迎え今後の進むべき方針を考察」をテーマに笹森会長・山本連合副事務局長・鈴木労金協会副理事長・古川全労済副

理事長と高橋事務局長をコーディネーターとしてシンポジウムが行われました。「組合が変われば社会が変わる」すべての働くものの連帯で力をつなげる。理念を共有していくことが必要である。事業団体と労働組合の関係では理念と営業の両立についてなど意見交換がされました。

研究集会2日目は基調講演「いま“はたらく”が危ない 働くことが壊されていく」派遣村から見た日本社会-NPO法人もやい湯浅事務局長(派遣村村長として活動)より活動の実態をもとにした報告、提言がありました。

研究集会最後のテーマのシンポジウム「生活・労働・雇用、非正規問題を考える」では派遣社員の深刻な状況についての現況報告、企業福祉の減少化について(湯浅さん)サポートセンターの相談から地域社会をどう支えていくか(江花さん)労働相談に来る方の大半は、労働条件、自分の権利を知らない方がいる(鎌田さん)など貴重な意見が出されました。

閉会にあたり中央労福協植本副会長より、私たちを取巻く環境は好転する気配が見られず不安が続いています。この中にあってこの集会での貴重な意見は参考になり今後の活力にしたいと挨拶がありすべての日程を終了しました。

2009年度 国内交流「in さいたま」開催報告

2009年度国内交流「in さいたま」が「県民健康センター」に於いて7月23日(木)～24日(金)に参加者103名で開催されました。

目的は、埼玉労福協におけるネットワークSAITAMA21運動のとりくみと、連合埼玉と連携した高齢者支援・障害者支援、子育て支援、環境保護などの活動と、地域の仲間づくりをめざした自主福祉活動のとりくみについての活動を学び、地域での活動に活かしていく事です。

基調報告では「ネットワークSAITAMA21運動」のとりくみについて埼玉労福協鈴木専務理事より報告がありました。この運動は、埼玉県連合のふれあい福祉運動としてスタートした。活動は勤労者の暮らしを市民活動を通して応援する事と、ふれあいコミュニティ・ファンド(寄附・支援)から成り立っている。

市民活動を主とした活動は、各種セミナーの開催、ボランティア、シニアの地域デビューのサポート、人材育成講座、NPOサポートなどの貢献活動を実施している。また、NPO団体からは「ふれあいコミュニティ・ファンド」がNPO活動とどう協働しているか、労働組合とNPOの連携はさいたまNPOセンターを通じて、いろいろなNPOが市民ネットワークSAITAMA21を通して連携をしていることは大きな力となっていると報告があった。

2日目は〈記念講演〉「埼玉大学がめざす地域貢献と社会的役割」と題して埼玉大学 上井学長による講演が行われた。大学における地域貢献のとりくみと社会への貢献で地域と大学の差・大学と地域の関係について埼玉大学の基本方針「広域地域社会における社会的使命にこたえる」事への説明があった。



＜活動報告＞ 東部ブロック協議会結成40周年の節目に「福祉リーダー塾」を開設したが、この塾がめざすものは、新たな労働者自主福祉運動の創造と実践でありそのために運動の理念や歴史を学び、職場や地域社会で具体的に実践するリーダーの養成であると大森事務局長より報告された。

交流会でリーダー塾の重要性、労福協を母体として労金・全労済が誕生した歴史の重要性、NPOとの連携の厳しさ組織の相違(管理型と独自型)を学びました。これから労福協が行わなければならないことを再認識してこれからのとりくみについて皆で力を合わせて行こうと締めくくり2日間の集会が終了しました。



埼玉労福協 鈴木専務理事

中国労働金庫 第6回通常総会開催 = 役員改選により、新体制スタート =

中国労働金庫の第6回通常総会が6月25日(木)、広島市のリーガロイヤルホテル広島で出席代議員215会員、委任会員2778会員で開催されました。田中理事長が挨拶の中で、想定もしなかった厳しい経済環境の中で好決算が出来たことに対して会員の協力へのお礼、全国合併準備委員会への参画にかかわる説明、また、統合前に起こっていた旧山陰労働金庫における元職員不祥事件のお詫びを申し上げ、今期をもって理事長を退任する旨を述べました。報告事項として執行役員制度の導入を含む4項目を全員で確認した後、議案審議に入り、合併準備委員会への参画の件を含む6つの議案を審議し、いずれも全員賛成で承認され成功裡のうちに終了しました。



新理事長に金尾氏が就任

任期満了に伴う役員改選では、田中理事長、春石副理事長、長廣専務理事が退任し、後任の理事長には金尾博行氏(基幹労連JFEスチール福山労働組合)が就任しました。

新役員(敬称略)

理事長	金尾 博行(新)	理 事	堀谷 俊志(再)	理 事	宇野 稔(新)
副理事長	中嶋 光雄(新)	〃	石塚 博(再)	〃	網戸 茂(新)
専務理事	卯山 郁朗(新)	〃	川中 武範(再)	〃	狩野 正良(新)
常務理事	難波 俊太(再)	〃	脇本 昭彦(再)	〃	為末 和政(新)
常勤理事	安長 章(再)	〃	小早川 健(再)	〃	河済 盛正(新)
〃	遠藤 渡(再)	〃	藤井 賢治(再)	常勤監事	上野 豊明(新)
〃	西城 洋一(再)	〃	小椋 昌美(新)	監 事	大塚 克己(新)
〃	向井 高志(新)	〃	小野田義明(新)	〃	福本 康志(新)
〃	長嶺 平治(新)	〃	水戸岡俊治(新)	〃	清水 大助(新)
執行役員	古川 信正(新)	〃	高木 義朗(新)	〃	近藤 勝(新)

第14回 全労済鳥取県本部 第57回 鳥取県共済生協

通常総代会開催

2009年7月30日(木)、全労済鳥取県本部5F大ホールにおいて、「2008年度通常総代会」を開催しました。本総代会において、2008年度事業報告と2009年度活動計画の承認決定をいただきました。また、役員改選が行われ、新体制で2009年度がスタートしました。

新 役 員

専務理事 中野 敦
理 事 山口 修司
理 事 竹内 克徳
監 事 江口 真也
監 事 藤本 治男

退任役員

専務理事 小高 郷近
理 事 中川 昌美
理 事 西川 真也
理 事 前谷 憲博
監 事 片山 武彦
監 事 香川 恵



鳥取県生協 第59回通常総代会を開催致しました

鳥取県生活協同組合は、2009年6月22日（月）、鳥取県立倉吉未来中心（倉吉市）にて、第59回通常総代会を開催いたしました。

2008年度の事業・決算報告と剰余金処分案、2009年度の事業計画の他、定款や規約の変更、役員選任などの議案について、すべて可決採択されました。

尚、役員の改選により、以下の監事4名が決まりました。

生田篤志、松原万里子、小谷慧、宮本昭一

2009年度の主な計画は、

- ・事業高62億円
- ・品質管理と商品力の強化を図り、安全で暮らしに役立つ事業を推進します。
- ・県民のくらしの中に生協をお勧めし、組合員の輪を広げ、生協事業活動への理解と信頼の再形成を図ります。
- ・「たべる＊たいせつ」を柱とした「食育」活動や、より多くの組合員参加をベースにした、生き活きとした組合員活動の推進を図ります。
- ・信頼される職員育成と働きやすい職場環境の整備を図り、事業と経営の健全性を高めます。

など提案されました。



鳥取医療生協 第65回通常総代会開催

鳥取医療生協は、第65回通常総代会を6月20日（土）、さざんか会館で開催しました。

来賓はじめ、総代、役職員289名が出席し、提案された2つの報告と6つの議案が圧倒的多数で可決承認されました。

山上組合長理事は開会にあたり、宇沢弘文氏（鳥取県出身）が提唱した「社会的共通資本（生命が地球上でまっとうに生きていくために必要な資本）」について紹介し、

「私たちが言う2200億円のこと。小泉内閣以来の社会保障費削減で、外来窓口負担、介護保険、後期高齢者医療制度など、国民から多くの負担をとっている。いい国にしていけるためには、皆さんの力が必要です。」と挨拶し、最後に「医療は医師や看護師だけでは出来ない。医療生協本来の力を発揮して、経営的に厳しいこともあるが、皆さんと力を合わせていのちを守っていきましょう」と呼びかけました。池成専務理事より、2008年度活動のまとめと事業報告では、2008年度活動の3つの前進として、①センター病院がスタートで新しい医療活動が広がってきている、②仲間ふやし、班会開催で目標達成し、支部・班活動で近年にない前進をしてきている、③経営再生運動で経常剰余が当初予算比で2億円改善した、ことが挙げられました。また、2つの問題点として、①出資金ふやしと事業活動で目標剰余を獲得できなかったこと、②技術者確保、とりわけ医師の採用・定着を抜本的に強化することを挙げ、組合員活動を活性化させて、増資参加者を増やしていくことと、技術者紹介運動への引き続きの協力について、強調して訴えがありました。

鳥取生協病院の竹内勤院長より、新病院オープン後の1年を振り返っての報告がありました。「今の低医療費政策に抗して、患者さんや弱者の医療を守って、安心安全の砦になるためには、職員の頑張りに依拠しながらも、組合員の皆さんと手を取り合って進まなければ、経営を守ることが出来ない」と、出資金と病院利用への協力を強く訴えられました。2009年度活動方針と事業計画及び収支予算について、池成専務理事より一括して提案がありました。総代会で提案された議案は、いずれも圧倒的多数の賛成で承認可決されました。

最後に、二つ特別決議案『医療生協をいのちの分野に活かす大運動』に取り組み社会保障拡充への政策転換を実現しいのちとくらしを守ろう！と、「2008年度経営再生運動の成果と教訓を活かして2009年度経営再生2年目の目標を達成し事業を継続・発展できる経営構造に転換しよう！」を読み上げて提案し、満場の拍手で確認しました。



第46回 鳥取県労働者スポーツ祭典開催のお知らせ

今年度も地区大会（予選）が終わり、いよいよ県大会を迎えます。総合開会式は、「琴浦町総合運動公園体育館」午前9時より行います。競技種目・開催日時・会場については、下記の通りです。

競技種目	開催日	(予備日)	曜日	開始式(時間)	競技会場(コート)
軟式野球	10/4	(10/11)	日	8:30	三朝球場
ソフトボール	10/4	(10/11)	日	9:00	鳥取短大グラウンド
バレーボール	10/4		日	9:00	琴浦町総合運動公園体育館
男子					
女子					
バドミントン	10/4		日	9:00	泊体育館
卓球	10/25		日	9:00	東山体育館
ボウリング	10/4		日	10:00	倉吉プラザボウル
グラウンドゴルフ	10/4	(10/11)	日	10:00	潮風の丘とまり



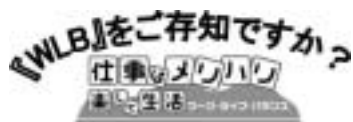
※選手の皆さんは開始式までにお集まりください。開始式終了後、試合開始となります。詳しくは、ホームページをご覧ください。

NPO支援活動

〈ろうきん〉は地域社会の抱えるさまざまな問題に取り組むNPOを支援する「NPO寄付システム」の取組を2008年度も継続実施しました。「100円からできるボランティア」をキャッチフレーズに、お預かりしたご契約者の寄付金をNPOへお届けしています。ご加入に関するお問い合わせは各営業店へお願いします。



NPO法人名	分野	寄付配分額
お菓子屋くればす(境港市)	保険・医療・福祉	5万円
こども未来ネットワーク(倉吉市)	文化・スポーツ	5万円
十人十色(鳥取市)	文化・スポーツ	5万円
鳥取環境市民会議(鳥取市)	環境保全	5万円
コミュニケーション支援センターふくろう(米子市)	災害救援	5万円
子ども虐待防止ネットワーク鳥取(鳥取市)	子どもの健全育成	5万円
岩美障がい児者親の会びゅあふれんず(岩美郡)	子どもの健全育成	5万円
悠ゆうの郷(鳥取市)	おまかせコース	5万円



ワーク・ライフ・バランス (WLB)・・・「仕事と家庭の調和」仕事と仕事以外の生活（子育て、親の介護、自己啓発、地域活動など）との調和が取れている状態。

労使双方がWLBへの理解を深め、働き方を見直すことにより双方にメリットをもたらす事ができます。

働き方の見直し

在宅勤務
所定外労働の削減
女性・高齢者の活用
教育訓練
休暇制度
育児・介護両立支援

- 生活、人生の充実
- キャリア形成
- 意欲、能力の発揮

労働者

仕事以外の活動に向ける時間が増え、家事・育児の分担、生涯活動、地域活動等へ参加しやすくなる。

- 業務の効率化
- 生産性の向上
- 優秀な人材の確保

使用者

仕事以外の生活を充実させた労働者から、独創性と工夫に富んだ発想による貢献を受けることができる。

安全衛生
委員会

組合
学習会

業務改善
活動

などで、WLBをテーマとしてお考えください。

WLBの社内研修会を実施される場合、講師を無料で派遣しますのでご利用ください。

【お問い合わせ先】鳥取県中小企業労働相談所みなくる TEL: 0120-451-783

鳥取医療生協 緩和ケア委員会公開講座

「エンゼルケアの考え方と実践のポイント」へご参加ください



小林光恵さん

皆さんは「エンゼルケア」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか？死後の処置と一言でいってもさまざまな方法がありますが、なるべく詰め物はせず手をあわせて縛るといふこともしないような方法が一般的となってきました。

鳥取生協病院緩和ケア委員会では、9月12日午後1時半より県民ふれあい会館にて「エンゼルケアの考え方と実践のポイント」というテーマで公開講座を予定しています。講師は「おたんこナース」、「ナースマン」などの作者でおなじみの小林光恵さんです。医療関係者だけでなく、一般の方も多数ご参加ください。

鳥取県生協

秋の仲間づくりキャンペーンのお知らせ

仲間づくり
キャンペーン

＜期間＞
8月31日(月)～
10月30日(金)

お誘いをご協力いただいた組合員さんへは…

★期間中に未加入者を紹介すると
「商品サンプル」をプレゼント♪

★さらに その方が加入されて商品を利用すると
お買い物券1000円をプレゼント♪

また 現在利用をお休み中で申し込みカード等の
発行を止めている方が利用再開されると

★お買い物券500円のプレゼント♪

期間中に新しく加入された方へは…

★新規加入の方へも
お買い物券500円をプレゼント♪

★さらに 個配利用なら
2ヶ月間手数料は無料！

★さらに 1歳未満のお子様をお持ちのお母さん！
「おしりふき」「洗たくせっけんおおぞら」
をプレゼント♪

COCOステーションでは試食会などのイベントを開催予定です。

も準備しています。この機会に是非、ご利用の再開をお願いします。

ZENROSAL NEW



地震・自然災害・盗難までワイドな保障

自然災害保障付
火災共済

風水害等補付金付火災共済・自然災害共済

万一の災害から
身近な被害まで、
充実保障で暮らしを守ります。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしをめざしています。出資金をお支払い
いただいて組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

保障のことなら
全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会


あなたの作品

募集中!**勤美展**事前申込が
必要です

11月20日(金)まで

第56回鳥取県勤労者美術展**1. 会期及び会場**2009年12月6日(日)～13日(日)
鳥取県立博物館(鳥取市東町2-124)**2. 出品資格者**県内在住又は県内の事業所に勤務する勤労者(自営業、農業含む)
及び退職者・家族**3. 部 門**

写真・洋画・日本画・書道 熱中作品展も同時に受付けております。

4. 出 品 申 込 (事前申込が必要です。)申込期間 2009年10月1日(木)～11月20日(金)
申込書については、下記ホームページからダウンロードして頂けます。鳥取県労福協 

問い合わせ・申込先

財団法人鳥取県勤労者福祉協議会

〒680-0847 鳥取市天神町30-5 0857-27-4188

メール tottori@roufuku.jp URL http://tottori.roufuku.net/



2008年度美術展風景 (表彰式)



2008年度美術展風景 (観覧)

充実した福利厚生をお届けする

ひまわりセンター**健診受診助成**生活習慣病予防健診・定期健診
助成**慶弔給付金**永年勤続・結婚・出産・還暦・
入学祝金・休業見舞金、死亡弔
慰金**余暇活動**社員旅行・家族旅行代金の一部
助成・映画鑑賞・レジャー施設
等の割引利用・コンサートチ
ケット等の斡旋**そ の 他**資格取得試験受験料の一部助成
各種教室の開催会費月額(1人)
600円**会 員 募 集 中**※当サービスセンターに未加入の事業所がございましたらお気軽に
ご連絡ください。財団法人鳥取市中小企業勤労者福祉サービスセンター
〒680-0031 鳥取市本町3丁目201番地
鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル1F
TEL 0857-37-1937 FAX 0857-24-2234
URL http://www.tottori-sc.com
E-mail himawari@tottori-sc.com

企業を支える社員の力をUP!!

魅力あふれる
職場づくりに!**ジョイサポートよなご**

充実した福利厚生サポート

月額1,000円/1名でこんな特典があります!

- 健康診断 5,000円助成
(人間ドック(5年に1回)12,000円助成)
- 旅行ツアー 年度内最高10,000円補助
- 各種資格取得時費用 3,000円助成
- 慶弔給付金 永年勤続祝金 最高10,000円支給
傷病見舞金 最高25,000円支給
その他 結婚祝金・出産祝金・還暦祝金等
最高10,000円支給
死亡弔慰金 10,000円以上
火災等 最高200,000円支給
自然災害 最高60,000円支給
- 住宅災害見舞金
- コンサート、美術展などの各種チケット割引斡旋
- スポーツ大会、各種教室の開催
- レジャー施設の割引利用

会員募集中

入会のお申込は

財団法人米子市勤労者福祉サービスセンター
〒683-0822 米子市中町20(旧市役所3F)
TEL 0859-38-1122 FAX 0859-38-1166
URL: http://www.yonago-sc.com
E-mail: info@yonago-sc.com